

福岡県 防災士養成研修・試験 ≪受講者募集≫

福岡県では、近年、災害が頻発しています。災害による被害を最小限に抑えるためには、地域ぐるみで防災体制を確立していくことが重要です。その中心的な役割を担うのが、地域の自主防災組織です。

自主防災組織では、日頃から地域レベルで、防災意識の普及・啓発、災害時の避難誘導などの防災活動を行っています。

県では、自主防災組織の活動に参加するリーダーを防災士として養成するため、「福岡県防災士養成研修・試験」を開催します。

自主防災組織の活動に参加する意思のある方で、防災士の資格取得を目指す福岡県民の方は、本養成研修・試験をお申し込みください。

<開講日・開講場所>

- | | | |
|----------|---|------------------------|
| ○筑後ブロック | 定員150名 | 令和8年10月17日(土)・18日(日) |
| | 三潁生涯学習センター 多目的集会室
(久留米市三潁町玉満2949番地1) | |
| ○北九州ブロック | 定員120名 | 令和8年10月31日(土)・11月1日(日) |
| | 毎日西部会館 9階大ホール
(北九州市小倉北区紺屋町13-1) | |
| ○福岡①ブロック | 定員150名 | 令和8年11月14日(土)・15日(日) |
| | 福岡県千代合同庁舎 3階C301会議室
(福岡市博多区千代1丁目20-31) | |
| ○福岡②ブロック | 定員150名 | 令和8年11月26日(木)・27日(金) |
| | 福岡県庁 3階講堂
(福岡市博多区東公園7-7) | |

<受講対象者>

以下の(1)～(3)のすべての要件を満たす方。

- (1) 福岡県内に居住する福岡県民で、居住地域の自主防災組織の活動に参加する意思のある方、かつ自主防災組織のリーダーとして活動が可能と見込まれるため、居住する市町村から推薦を受けた方。
- (2) 受講決定後、本養成研修・試験の受講日までに、消防署等が実施する救命講習を修了し、防災士教本及び履修確認レポートを自主学习して履修確認レポートの提出用紙を本養成研修・試験の受講日に提出できること。また、本養成研修の全講目を受講し、防災士試験を受験すること。試験合格後はNPO法人日本防災士機構に認証登録を行い防災士となること。上記の全てを行える方。
- (3) 受講申込書に記載の「申込にあたっての確認事項」の全9項目に同意頂ける方。
上記要件を満たした場合でも、受講希望者が多数の場合は受講できないことがあります。また、県による受講決定を受けていない方は受講できません。

<申込方法>

- ・新宮町役場(地域協働課)に別紙の受講申込書をご記入のうえご提出ください。
- ・お住まいのブロック(北九州・筑後・福岡)での受講となります。なお、お住まい

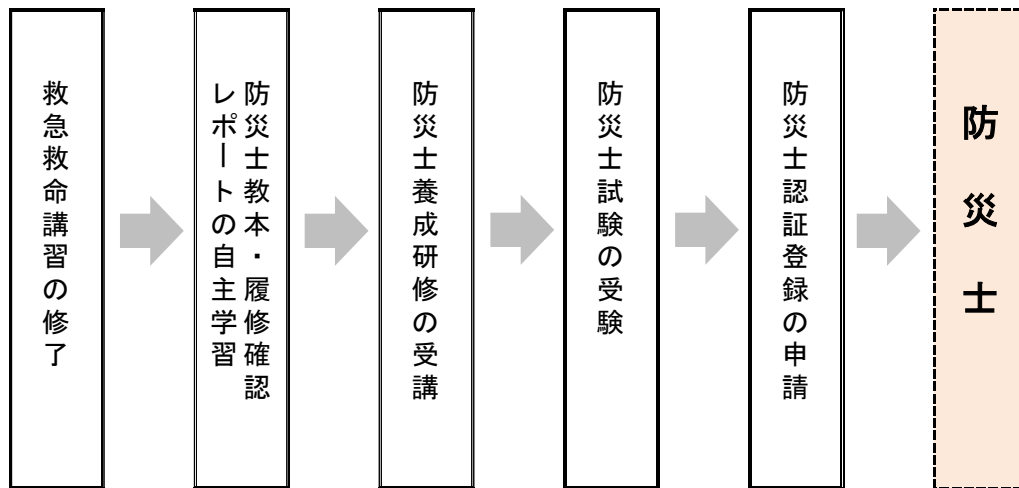
のブロックにかかわらず、平日の受講を希望される方は、福岡②ブロックを希望できます。ブロックが不明の場合は新宮町役場（地域協働課）にご確認ください。
※筑豊ブロックにお住まいの方は、希望するブロックでの研修にお申し込みください。

- 受講の可否は、9月中旬までにご案内します。
- 受講決定後は、お住まいの消防署に受講者ご自身で連絡のうえ、防災士資格の取得に必要な普通救命講習Ⅰ等の救急救命講習を受講してください。

<費用>

- 教本代（4,000円）、受験料（3,000円）、認証登録料（5,000円）の計12,000円は受講者のご負担となります。受講決定後に教本代と受験料の納付が必要です。また、試験合格後に認証登録料の納付が必要です。なお、市町村によってはこれらの費用を助成される場合がありますので、お申込み時に市町村にお尋ねください。
* 機構に納付された受験料は災害等特別の事情が無い限り返金されません。また、災害等により本研修・試験を延期・中止することがあります。その場合においても、配付済みの教本代の返金を行いません。
- 認証登録に必要なカラー証明写真代（縦3.0cm×横2.5cmの2枚）、救急救命講習の修了証のコピー代、交通費や宿泊費、昼食費等の個人にかかる費用については受講者のご負担となります。

<防災士になるまでのフロー>



- * 「救急救命講習の修了」と「履修確認レポートの自主学習」は実施順序に影響はなく、いずれも防災士養成研修・試験の受講日までに各自で完了してください。
- * 「防災士養成研修の受講」と「防災士試験の受験」は、連続2日間の間に同会場を受講・受験します。研修のみの受講及び受講決定を受けていない方は受講はできません。

<防災士とは>

自助・共助・協働を原則として、社会の様々な場で防災力を高める活動が期待され、そのための十分な意識と一定の知識・技能を修得したことを、NPO法人日本防災士機構が認証した人。

<防災士の活動例>

- 平常時
 - 自主防災組織の組織化、地域における防災知識の普及・啓発、各家庭での防災備蓄・減災対策の呼びかけ、地域の危険箇所の確認、防災訓練への参加・実施 等
- 災害発生時
 - 高齢者等の避難支援、初期消火活動、負傷者の救出活動、避難所の運営 等

福岡県 防災士養成研修・試験 (カリキュラム例)

開場・受付開始 8:30～（筑後ブロックのみ 9:00～）

1日目			2日目		
土曜日			日曜日		
	9:00～ 9:05	1日目開講		9:00～ 9:05	2日目開講
1限目	9:05～ 10:05	土砂災害	8限目	9:05～ 10:05	行政の災害対策と 危機管理
2限目	10:10～ 11:10	近年の主な自然災害	9限目	10:10～ 11:10	防災士が行う各種訓練 (演習含む)
3限目	11:15～ 12:15	広域・大規模火災	10限目	11:15～ 12:15	地域防災と多様性への 配慮 (演習含む)
	12:15～ 13:00	お昼休憩		12:15～ 13:00	お昼休憩
4限目	13:00～ 14:00	地震・津波への備え	11限目	13:00～ 14:00	自主防災活動と 地区防災計画
5限目	14:05～ 15:05	風水害・土砂災害等への備え	12限目	14:05～ 15:05	防災士に期待される活動
6限目	15:10～ 16:10	災害と損害保険	13限目	15:10～ 16:10	避難所の設置と運営協力
7限目	16:15～ 17:15	災害ボランティア活動		16:15～ 16:20	2日目閉講
	17:15～ 17:20	1日目閉講		16:25～ 17:25	防災士試験

- * 上記のカリキュラムは実施例です。災害の発生等により、講義内容、講義数、開始・終了時間、実施会場等が変更になることがあります。
- * 災害の発生等により、開催を中止することがあります。
- * 本研修で実施する講義は、試験対策ではありません。防災士となり自主防災組織等の地域で活動していくうえで必要と考えられること等を各専門家から講義いただきます。2日目の最終に防災士資格試験を実施しますが、試験対策は事前に配付する防災士教本を使用し、各自で事前学習にしっかり取り組んでいただく必要があります。
- * 研修開始後の途中入室は、お断りさせていただくことがありますので、あらかじめ御了承ください。